

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年3月31日
2次評価日（課長等）	31年3月31日

1 事業名	姉妹都市交流事業	コード	165106
-------	----------	-----	--------

2 担当部課	部等	企画政策部	課等	秘書広報課 秘書担当	作成者	荻原 浩樹
--------	----	-------	----	------------	-----	-------

3 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて		
		政策	総合計画の推進に向けて	施策	その他
		予算科目	姉妹都市交流事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	その他（内部事務等）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	岡谷太鼓祭りへ姉妹都市関係者を招待するとともに、各都市のイベント等に参加する。		
目的	対象者	市民	
	意図	姉妹都市間の相互理解を深めるとともに交流の充実を図る。	

5 事業の実施内容		*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
<p>○岡谷太鼓祭りでの交流（8月13日～14日） 内容：富岡市、玉野市、東伊豆町の関係者（市・市議会・商工会議所・観光協会）を招き交流を深めた。 参加者：富岡市12名、玉野市4名、東伊豆町14名、岡谷市25名 合計55名</p> <p>○玉野市の「たまの・港フェスティバル」に参加（7月23日～24日） 内容：市、商工会議所、観光協会等から6名が参加し、交流を深めた。</p> <p>○東伊豆町の「稲取温泉どんつく祭り」に参加（6月3日～4日） 内容：市、市議会、商工会議所、観光協会から15名が参加し交流を深めた。</p> <p>○富岡市の「どんと祭り」に参加（10月20日～21日） 内容：市、市議会、商工会議所、観光協会から17名が参加し交流を深めた。</p>			
前年度の課題への対応	姉妹都市のイベント等へ参加する中で岡谷市のPRを行った。		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度（予算）		
① 活動指標（指標名）					単位	回
	実績値	4	4	4		
	*指標の説明	交流回数				
② 成果指標（指標名）					単位	人
	目標値	90	73	85	90	
	実績値	107	81	93		
	達成度	118.9%	111.0%	109.4%		
	*指標の説明	交流事業への直接的な参加人数（富岡市とは隔年交流）				
*目標値の設定方法の説明	前々年度実績数値による（富岡市とは隔年交流）					

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	876,012	397,550	305,043	431,000
経常経費	162,680	197,750	212,078	331,000
臨時的経費	713,332	199,800	92,965	100,000
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	800,000	800,000	800,000	800,000
正規職員の人数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10
③ 合計コスト(①+②)	1,676,012	1,197,550	1,105,043	1,231,000
前年度比		71.5%	92.3%	111.4%
財源	1,676,012	1,197,550	1,105,043	1,231,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	240,670	249,438	253,020	
前年度比		103.6%	101.4%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
姉妹都市交流事業開 催市負担金	件数	1	1	1	1
	金額	110,780	110,780	145,780	189,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	110,780	110,780	145,780	189,000
	割合	12.65%	27.87%	47.79%	43.85%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比 114.8%
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度 109.4%

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課 題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 直接的に市民も参加できる姉妹都市交流時魚の実施。	
	改 善 方 法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 現在、祭事を中心に姉妹都市交流を行っているが、民間レベルでの姉妹都市交流の充実や、別の形の交流を検討する。
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	
-----------	--------	---	--